

茨城県弁護士会憲法シンポジウム
主催：茨城県弁護士会
共催：日本弁護士連合会・関東弁護士会連合会

憲法改正問題に取り組む全国アクションプログラム

「核兵器のない世界」の実現を目指して～ウクライナ戦争から考える



川崎哲（かわさき・あきら） 小泉悠（こいずみ・ゆう）

I C A N 国際運営委員

東京大学先端科学技術研究センター専任講師

日時 2023年1月28日（土）13：30～16：00

Zoom の URL と QR コード、パスコード、ID は下記の通りです。

[https://us06web.zoom.us/j/83347003657?pwd=eTlPb2dwbDRkRTN
CclhlcVZNS09PZz09](https://us06web.zoom.us/j/83347003657?pwd=eTlPb2dwbDRkRTN
CclhlcVZNS09PZz09)

ウェビナーID: 833 4700 3657 パスコード: gMX98T



当日、直接入力の上、ご視聴ください。

事前登録は、不要です。

茨城県弁護士会ホームページからもご案内できます。

問い合わせ先：茨城県弁護士会 茨城県水戸市大町2-2-75

電話 029-221-3501

【企画趣旨】

2022年6月、ウィーンで核兵器禁止条約第一回締約国会合が開催されました。また、同年8月には、ニューヨークで核不拡散会議（NPT）再検討会議が開催されました。核兵器禁止条約の制定に至る過程、今後の市民・政府が向かうべき方向について、核廃絶運動の第一人者である川崎哲さんにお話を伺います。他方、ロシアのウクライナへの軍事侵攻により、ロシアによる核兵器の使用が現実味を帯び、深く懸念されています。ロシアの軍事・核戦略の専門家である小泉悠先生に現状をお話いただきます。

「核兵器のない世界」の実現を改めて考える機会として本シンポジウムを開催いたします。是非、ご参加下さい。

【内容】

- ① 基調報告Ⅰ 川崎哲氏（核兵器無き世界へ市民社会の取り組み）
- ② 基調報告Ⅱ 小泉悠氏（ロシアの核戦略～ウクライナ戦争）
- ③ 基調報告を受けての意見交換

【川崎哲氏 プロフィール】

1968年東京生まれ。東京大学法学部卒業。2017年にノーベル平和賞を受賞した「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」の国際運営委員。核兵器廃絶日本NGO連絡会の共同代表として、NGO間の連携および政府との対話促進に尽力してきた。2009～10年、日豪両政府主導の「核兵器不拡散・核軍縮に関する国際委員会（ICANND）」でNGOアドバイザーを務めた。2021年、第33回「谷本清平和賞」受賞。恵泉女学園大学、聖心女子大学などで非常勤講師。日本平和学会理事。著書に『核兵器 禁止から廃絶へ』（岩波ブックレット、2022年）、『核兵器はなくせる』（岩波ジュニア新書、2018年）など。

【小泉悠氏 プロフィール】

1982千葉県生まれ。早稲田大学社会科学部、同大学院政治学研究科修了。政治学修士。ロシア科学アカデミー世界経済国際関係研究所（IMEMORAN）客員研究員、公益財団法人未来工学研究所客員研究委員を経て、現在は、東京大学先端科学技術研究センター（グローバルセキュリティ・宗教分野）専任講師。専門はロシアの軍事・安全保障。著書に『「帝国」ロシアの地政学―「勢力圏」で読むユーラシア戦略』（東京堂出版、2019年、サントリー学芸賞受賞）、『ロシアの軍事戦略』（ちくま新書、2021年）、『ウクライナ戦争』（ちくま新書、2022年）等。